



縁側に少し面積を足すだけで、こんなに見事な小間の茶室ができるのかと驚かされる。当然ながら木材にもこだわっている。既存部分とのつながりも内観・外観とも非常に自然に仕上げられている。石などは元々あったものだろうか。

リフォーム前後の写真

リフォーム前



1



2

工事中

リフォーム後



1



2



3



4



5



6

銘木仕様／細竹格子窓、二重釣棚(杉板)、赤松丸太、天井(杉証垂木掛、牙付垂木、木子舞、厚貼矢羽根足代天井、黒部杉へぎ板天井、藤づる、代萩ベニヤ天井)、床(畳寄)、床の間(西京赤松天然丸太床柱、鎮丸太太鼓床框、落掛、看節中柱、杉証厚貼床天井、鎮竹壁止め)

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

<p>《リフォームの動機》</p> <p>1.仲間を招いてお茶会を開くことが好きなお主人。8畳の和室に炉はありましたが、気の置けない友人と茶会をゆっくり楽しむ本格的な茶室が欲しいと思増築。</p> <p>2.華奢な造りの内装にしたいが、防犯性も欲しい。</p> <p>《設計・施工の工夫点》</p> <p>1.現在の施工基準をクリアしつつ、昔ながらの雰囲気を出すように設計。</p> <p>2.材料も含め、「昔の小間を再現したい」。というご主人の意向</p> <p>特に配慮した住宅性能：防犯性：罫目の上部や窓の上部にシャッターを設けながらも雰囲気を壊さぬように杉板でレールが見えないように工夫。</p>	<p>を実現するため銘木屋と一緒に材を選定した。</p> <p>3.工事は大掛かりにならぬよう、屋根は下屋を延長した。</p> <p>《リフォーム後》</p> <p>1.引渡し後、施主より「この小間でお茶を飲んで欲しい」と招待を受けました。またご友人のおもてなしが出来ると喜ばれていました。</p>
--	---

データ

所在地	埼玉県さいたま市	構造／築後年数	在来木造／17年
該当工事面積	5.88 m <sup>2</sup> ／総工事床面積 14.34 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	701.5 万円／総工事費 701.5 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 人／65歳以上： 2人／15歳未満： 人／ベッド：		
設計者	住友林業ホームテック(株)	担当者	土田 朋美
施工者	同上	担当者	高橋 一夫

リフォーム前



リフォーム後



S=1/150